

• 定期船 船上

畠中 ストーリー流れ - 1日目 (8/1)

1. 出航直後に、鳥海山を見ておこう！

- ・後での説明の前フリ (5. 鳥海山)

2. 酒田港

- ・塩の山

- ・どこから？
- ・なんのために？
- ・ヒント：水道

・世界と海でつながっている

- ・外の世界から必要なものを
- ・外の世界からいらないものも
- ・→ 海ゴミ

・水の色も見ておこう！

- ・沖に出ると全然違う色に



3. 定期船とびしま

- ・39km : 75分 → 200m : 23秒

- ・ウサイン・ボルト(19秒19)よりちょい遅め…(って知らないよね…)

4. 海岸線



・「庄内浜」← 庄内砂丘

- ・南北35km以上、高さ50~60mの、巨大な「砂丘」

- ・面積は鳥取砂丘の4倍、日本屈指の巨大砂丘

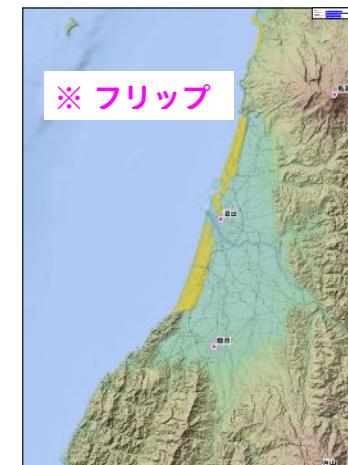
・川を通じて、砂が内陸部から海へ

- ・海は、他の海岸部だけでなく、内陸部ともつながっている

- ・冬の北西季節風による風・波で、浜辺に打ち上げられる

- ・実は海ゴミも

- ・原因は外部だけでなく、実は自分たち自身も



5. 鳥海山

- 出航直後とはだいぶ形が変わる
 - GPSのない頃、海の上でも鳥海山の見え方で現在地がわかった!

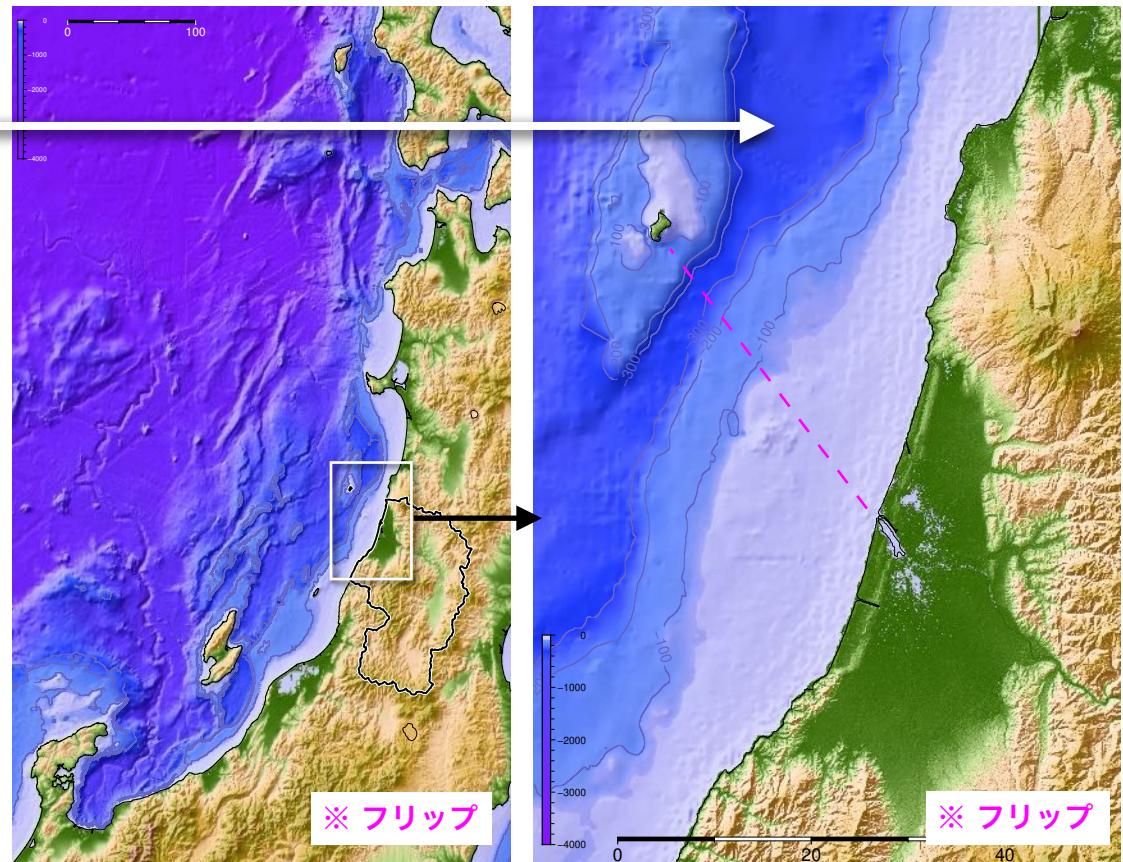


6. 海

- 北は鳥海山麓の三崎(秋田県境)から南は鼠ヶ関(新潟県教)まで
 - 山形県の海岸線を一望…できちゃうの?
- 実は山形県、全国の都道府県で海岸線2番目に短い
 - でも漁業でとれる魚は130種、特に少なくはない。なぜ?
- 様々な環境
 - 砂丘がつくる、長く遠浅の砂浜
 - 吹浦より北、湯野浜より南の磯
 - 暖かい対馬海流(暖流)
 - 1年中水温1~2°Cの冷たい海
 - 水深300mより深いところ(フリップの濃い青)
 - 「タラ場」
 - タラ、ハタハタ、「タラバ」ガニの生息環境
 - 溶存酸素も多い
 - 日本海のとても大きな特徴
- 飛島、表面は暖かい対馬海流、数km離れると水深300mの冷たい海
 - 酒田・飛島の真ん中あたりは水深100mもないけどね
- でも最近、スルメイカやトビウオがとれないんだよね…
- 「酒田のラーメン」のアゴだし、地元ではとれなくなったり…
- ところで…対馬「暖流」ってことは飛島って暑いの??
 - 5~8月の平均気温の平年値が、酒田と比べると1°C以上低い
 - さらに、猛暑日(最高気温35°C以上)の日数、過去たった5回だけ、酒田の1/20、なんと札幌の半分!

飛島での気象観測が開始された1979年以降、2025/7/21までの 猛暑日(最高気温35°C以上)の累計日数	酒田	102日
	札幌	10日

飛島 5日



7. 飛島

- どうして平ら?
- 答えはCMの後!じゃなくて2日目に



・定期船 下船前

- ・港の底まではっきり見える海の透明度！



・徒步移動(定期船発着所 → 沢口旅館)

- ！ 地震が起きたら避難路で崖を登る旨を説明
(2日目、地震がなくても登るけど)

！ 朝は旧道の方が日陰が多いので、
気温・風など状況によってルート決定

・タブ林

- ・南東側(酒田側)の海岸近くの崖(つまり避難路ある崖)
- ・常緑広葉樹林(照葉樹林)
 - ・タブは青森県日本海沿岸が北限だけど、タブ「林」は秋田県が北限
 - ・東北でもトップクラスの面積



※ パンフ
※ フリップも準備します

・徒步移動(沢口旅館 → 小松浜海水浴場)

！ 午後イチ、小松浜海水浴場まで約1km、旧道・新道とも日陰ほとんどなし

！ 体調のこまめな確認、
複数のWBGT指数計準備(私も1つ持参します)、
冷たい飲み物積んだ伴走車など、
熱中症対策を確実にお願いします。



・シユノーケリング

！ 基本、私はここでは安全管理に重点を置き、あまり説明はしないかと。

- ・カニ・小動物などは、死体などを食べる掃除屋(キモ～～い!!)
- ・でも、そのおかげで海がきれいに

・ヤコウチュウ(夜光虫)

！ 基本、私はここでは安全管理に(以下略)

- ・目に見えるくらい大きな単細胞生物(植物プランクトン)
- ・増えすぎると赤潮の原因に



・「ソデの浜」まで海岸歩いて探検

- ・ 昨日話した「崖を登る避難路」、ガンバって登ってみるぞ～
- ・ 段丘
 - ・ 階段みたい
 - ・ 平らなとこ歩いて、次の段へ急な坂を登り下り…
- ・ 波蝕棚
 - ・ 冬の波が削って平らに
 - ・ 海岸から100~300m沖まで、平らで浅い
 - ・ 寒い氷期に海面下がって削られなくなったり地震で持ち上がったり（隆起）
 - ・ → 段丘に
 - ・ 飛島全体が段丘
 - ・ だから「平ら」
- ・ 海と森と風と
 - ・ 港や旅館のある酒田側は、家のすぐ裏までタブの林
 - ・ ソデの浜のある反対側、木があまり生えてないところ多い
 - ・ 冬の強い風
- ・ もう時期が遅いけど… 6月にはトビシマカンゾウ
 - ・ 鳥海山などに咲く「高山植物」ニッコウキスゲ
 - ・ なぜ標高の低い海岸に？
 1. 木が生えてない草原
 2. あまり暑くならない（猛暑日、札幌より少ない）
 - ・ でもどうやって飛島に？？？
 - ・ 寒い氷期に、北陸から海を渡って流されて来た？
- ・ シェルビーチ
 - ・ 足元の「砂」をよく見ると… ほとんどが小さな貝がら！

・ビーチコーミング

- ・ どんなゴミがあった？多かった？
- ・ どこから來たゴミだろう？

